



検査体制の構築を目指し、PSSの技術を集積したDNA(核酸)抽出自動化装置(magLEADシリーズ)及び全自動PCR検査システム(geneLEADシリーズ)とPCR試薬とを連携させたシステムを既に完成しています。特にgeneLEADシリーズはDNA抽出とリアルタイムPCRの一貫全自動システムとして、ヨーロッパを中心にPCR検査を実施する世界の医療現場で導入されています。

そしてこのたび日本国内においても、全自動PCR検査装置とPCR試薬が保険適用の対象製品となったことにより、本年8月3日より販売を開始しました。さらには、COVID-19の確定迅速検査の世界的な需要に対応するためにmagLEADシリーズ及びgeneLEADシリーズ専用のDNA抽出試薬及び消耗品の販売拡大が予想されることから、大館試薬センターを中心として新たな自動化設備投資等による量産コストダウン対応が要求されており、事業の成長のための重要な解決すべき課題となっていますが、本年7月17日付において、「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」に採択されたことにより、この補助金を有効活用することにより順次必要な製品供給能力を確保するべく、日本国内で生産拠点等の整備を行う事業方針であります。

この事業方針を遂行することにより、重篤感染症によるパンデミックを防止するためPSS自動化システムの普及に鋭意努力し事業拡大による社会貢献を果たします。

なお、「2021年6月期の連結業績予想」については、上記の製品販売計画及び製品供給能力を精査した事業計画を策定中にて、2020年8月28日(金)に情報開示を実施する予定となっています。

以上